

1 研究開発プロジェクト名:

健康・医療・介護等情報の電子化・コード化に伴う情報保護、高速通信、電子承認等のための情報記録手法、情報通信プロトコル等の開発に関する研究

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2016年12月30日から2019年12月30日 / 3年計画の2年目

3 応募者

氏名	唐川 伸幸
所属機関	PwC サイバーサービス合同会社
所属部局	
職名	顧問

4 研究開発プロジェクトの概要

国民が安心して、健康・医療・介護サービスに関連する要配慮情報の電子化を図ると共に、電子記録の安全性を確保することによるセキュアな環境構築をおこなうことにより、情報提供者が安心して預けられる環境と、その情報解析による総合医療および人の暮らしの高品質な生活を実現可能とすることを目的とする。

秘匿情報保全機能と匿名機能を加味した、価値創造電子記録(デジタル化される健康機器IoT収集データ/健康情報、バイタルデータ/臨床検査情報及びプロフェッショナルによる判定情報/診療情報など)の著作物及び国機密情報・個人秘匿情報保全保護の基盤となる、十分な保全保護及び管理に加え不測の事態に壊せる情報記録手法確立及び遠隔地への情報流通に関する推進普及研究開発。非可逆記録台帳ブロックごとに保全、業務チェーンを独立プロセス化しブロックチェーン・スマートコントラクトを形成する。一方向性を持つ元データファイルの復元はできず、選定項目取り出しのみを可能とする、チェーンプロセスとする。

また、昨今脚光を浴びている、医療機器IoT、医療ICT、統計AIのみならず、次世代の社会環境にも耐えうる基盤を設計し、社会の持続的発展に寄与、日本の業務ノウハウを広く海外にも普及を促し、日本国外の周辺環境情報の分析を行い、公衆衛生健康危機の早期検知危機対応及び日本の進むべき方向を分析し、アジア、アフリカ、世界を牽引できる、情報集約統計を行う。